

〈医学部医学科FAQ〉

1	学生生活	小児科病棟ボランティアあそびーすというサークルに医学科の人が入るのは可能ですか。	「小児科病棟ボランティアあそびーす」は医学部にあるサークルですので、医学科生の入部は可能です。
2	学べる内容・授業	SSCでは外科分野でできるものはあるのか	外科分野の実習として、縫合パッドを使用した縫合実習や、腹腔鏡手術手技トレーニング実習があります。また、SSCは実習の時間以外も自主トレーニングでご利用いただけます。
3	卒業後の進路・就職先	地域枠で入学した場合、卒後市大の希望する科に入学できるのでしょうか。その際市大に所属する期間はどれくらいでしょうか。	基本的には希望診療科へ入局をしていただけますが、卒業後のキャリアプランは、それぞれ希望する進路によって異なります。 なお、現状では所属する期間の長さについての取り決めはございません。 ※地域医療枠開始以降、卒業者がまだいませんので実績についてはお答えができません。
4		将来関東地方で働きたい場合、どのようなキャリアがありますか？	卒業後の研修病院等は学生自身がマッチングで決定します。 マッチング時に関東の研修病院を希望し、マッチングが成立すれば卒業後関東で働くことができます。 マッチング(研修医マッチング)とは？ 研修希望者と研修先の病院を双方の希望を踏まえて、一定の規則(アルゴリズム)でコンピューターにより組み合わせを決定するシステムのことを言います。いわゆる医学部生の就活です。
5		学校推薦型選抜で入学した場合、「卒業後、一定期間、大阪公立大学医学部に所属する」ということですが、具体的に、一定期間とはどのくらいで、所属するとはどのようなことですか。	学校推薦型選抜(地域医療枠)は、卒業後に2年間の初期臨床研修を終え3年目以降に大阪公立大学医学部に一定期間所属をし、大阪の医療・医学に貢献していただく枠ですが、現状では期間の長さについての取り決めはございません。 臨床と基礎、どちらを選ばれても医学部へ所属する方法というのはいくつかありますので、ご自分の進路に合わせて相談し、選択していただけます。 キャリアプランの例として、臨床医として所属をするなら3年目に各診療科へ入局し附属病院で働く、または、基礎研究者として研究を行いたい、ということであれば大学院へ入学し基礎系の教室へ所属するという方法もあります。基礎研究者を目指す場合でも、2年間の初期臨床研修は終わってください。 〈学校推薦型選抜の求める人物像〉 大阪公立大学を拠点として、将来の大阪の医療・医学において指導的役割を担う医師・医学研究者になろうという志をもつ学生を求めます。
6	入試制度	学校推薦型選抜に関して質問いたします。出願要件に④一定期間、大阪公立大学医学部に所属することを確約できる者。とありますが、一定期間とはどのくらいの期間を想定されていますか。大阪に戻ってくることを前提に、海外や他大学の大学院への進学は可能でしょうか。よろしくお願ひします。	大阪公立大学医学部に所属していただく前提であれば他大学大学院への進学や海外留学等、ご自身のキャリアプランに合わせて行っていただくことは可能です。 また、現状では期間の長さについての取り決めはございません。
7		大阪市立大学から大阪公立大学に名前が変わり、入試の難易度や二次試験の問題傾向は変わっていますか？また、倍率などの変化はありますか？教えてください。	
8		大阪公立大学の予想過去問をwebでみたんですけど、二次試験の問題形式、傾向は大阪市立大学の方のみを採用するのですか？	2022年度入試の入試問題傾向については、Webサイトで公表しているサンプル問題をご参照ください。 なお、倍率についてはお答えしかねますが、昨年度の市大・府大の倍率は、入学者選抜要項に掲載しておりますので、ご参照ください。
9		公立大になった影響で志願者が増加するのではないかと予想されていますが、どうでしょうか？	入試情報サイト https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/
10		大阪市立大学から大阪公立大学になることで入試の難易度が大幅に上下することはあり得るのでしょうか？	
11		大阪市外からの受験において、不利になることはありますか？(市内からの受験生を優遇する等)	出身地(大阪市内外等)で受験に不利になることはございませんので、ご安心ください。
12	多浪生や再受験生が、面接等で不利に扱われることはありますか？	2021年度一般入試(前期日程)では80名の合格者に対して、現役生44名(55.0%)、浪人生36名(45.0%)でした。 多浪生の内訳は公表していませんのでお答えできませんが、現役生と浪人生とで有利・不利はありませんのでご心配不要です。 その他の選抜結果については、下記本学のHPをご覧ください。 https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/undergrad/3xgvkx	
13		医師以外の医療従事者(看護師、理学療法士など)志望の学生とチーム医療を体験するために、交流する機会などがありますか？	看護学科と医学科でチーム医療を学ぶ講義を行っています。看護学科以外とのチーム医療講義等は現時点では行っておりませんが、新大学開学後、リハビリテーション学科と医学科合同で、医療倫理学やコミュニケーション等の講義・実習を低学年で行う予定です。以下、現在行っている講義の一例です。 ○医学科6年生と看護学科4年生 医学科生と看護学科生が1つのグループとなり、シナリオに沿って患者様との関わり方や対応について、医師・看護師としての立場からの意見を共有しディスカッションを行います。最終的にグループとして成果物を作成することで、多職種で協力することを学びます。

14	その他	<p>医学部の研修などで海外に留学することはできますか？海外研修などの国際教育がどのようなものか教えてください。</p>	<p>医学科ではカリキュラムの都合上、長期の留学はできませんが、短期留学や学年によっては海外で実習を受けることが可能です。 海外の研修先で行う実習内容は研修先によって異なりますが、基本的に6年生は希望する診療科で実習を行っています。以下、海外実習の一例です。（2019年度実績）</p> <p>○3年生 修業実習で寄生虫学教室を選択すると、約1カ月、ケニアでマラリア研究に参加することができます。</p> <p>○5年生 アメリカのトーマスジェファーソン大学へ1週間の留学が可能です。定員は5名(予定)のため、学内選考にて派遣する学生を決定します。</p> <p>○6年生 選択型CCの実習を1カ月、海外で行うことができます。実習先は、国際学術交流協定締結校から選択が可能です。</p> <p>○国際交換留学サークル「ISAO」 医学部にあるサークルです。ISAOを通して、海外からの留学生を受け入れたり、医学科生の派遣を行っています。また、実習だけでなく、留学生に対して、実習や日常生活のサポートも行っており、学外でも交流を深めています。</p>
----	-----	--	---